

次期森林計画についての森林管理署の検討方向

－ 目 次 －

1. 現行計画の概要

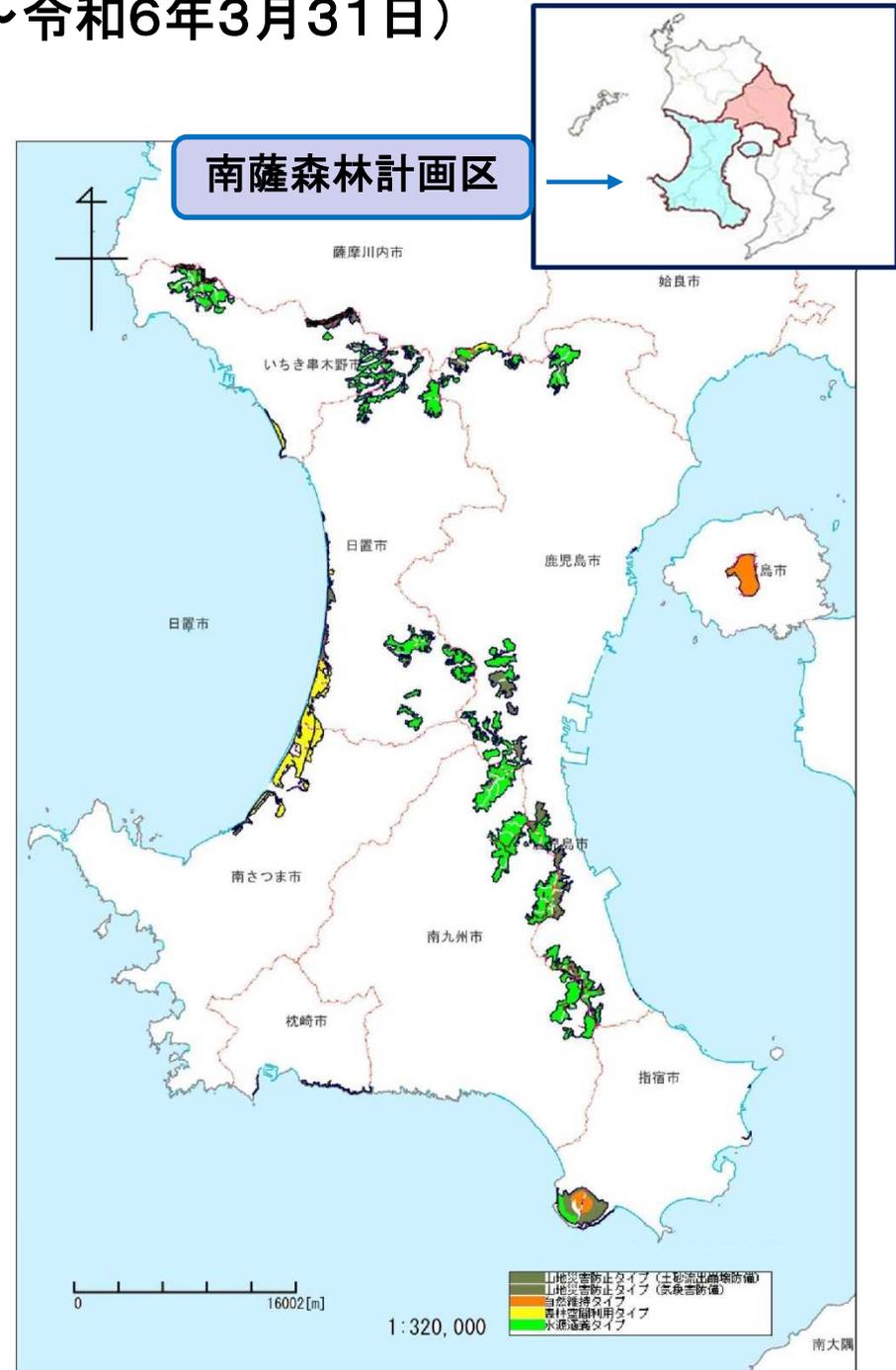
- (1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項
- (2) 国有林野の維持及び保存に関する事項
- (3) 林産物の供給に関する事項
- (4) 国民の参加による森林の整備に関する事項

2. 次期計画の検討方向

鹿児島森林管理署

1. 現行計画の概要(平成31年4月1日～令和6年3月31日)

- ・南薩森林計画の対象は、薩摩半島と鹿児島湾中央の桜島からなり、八重山山系と金峰山山系の森林及び吹上浜海岸林から形成される国有林野9,940haです。
- ・森林資源状況は、計画区の国有林野面積の92%にあたり、人工林が59%でそれ以外を天然林等が占めています。
- ・水源かん養保安林が全体の63%に達し、鹿児島市外5市の水がめとしての役割や日本三大砂丘の一つである「吹上浜」の海岸林が防風・防砂等の役割担っているほか、登山などの森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人に利用されています。
- ・カシ類、シイ類等の天然広葉樹林、スギ・ヒノキ人工林、クロマツを主体とする防風林等からなっています。



(1) 国有林野の管理経営に関する基本的な事項

① 機能類型に応じた管理経営

国有林野の管理経営に関する基本計画に即して、開かれた「国民の森林」に向けた取組を推進するため、個々の国有林野を重点的に発揮すべき機能に応じて、5つの機能類型に区分し、それぞれの発揮すべき機能に応じて管理経営を行っています。

機能類型区分	機能区分の考え方	目指すべき森林の姿	面積(ha)
山地災害防止 タイプ	山地災害の防止及び土壌保全機能の発揮を重視	根や表土の保全、下層植生の発達した森林	2,840
自然維持 タイプ	原生的な森林生態系や希少な生物の育成・生息する森林など属地的な生物多様性保全機能の発揮を重視	良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の育成・成育に適した森林	687
森林空間利用 タイプ	保健、レクリエーション、文化機能の発揮を重視	保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林	138
快適環境形成 タイプ	快適な環境の形成の機能を発揮を重視	騒音の低減や大気浄化など、人の居住環境を良好な状態に保全する役割を持つ森林	—
水源涵養 タイプ	水源の涵養の機能の発揮を重視第一とすべき森林	人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導を図る森林であり、森林資源の有効利用にも配慮	6,275

② 森林の流域管理システムの下での森林・林業再生に向けた貢献

県・市町村等との密接な連携を図るとともに、組織力・技術・資源を活用し、民有林経営の支援等に積極的に取り組めます。

民有林と強調した効率的な森林整備を推進しています。



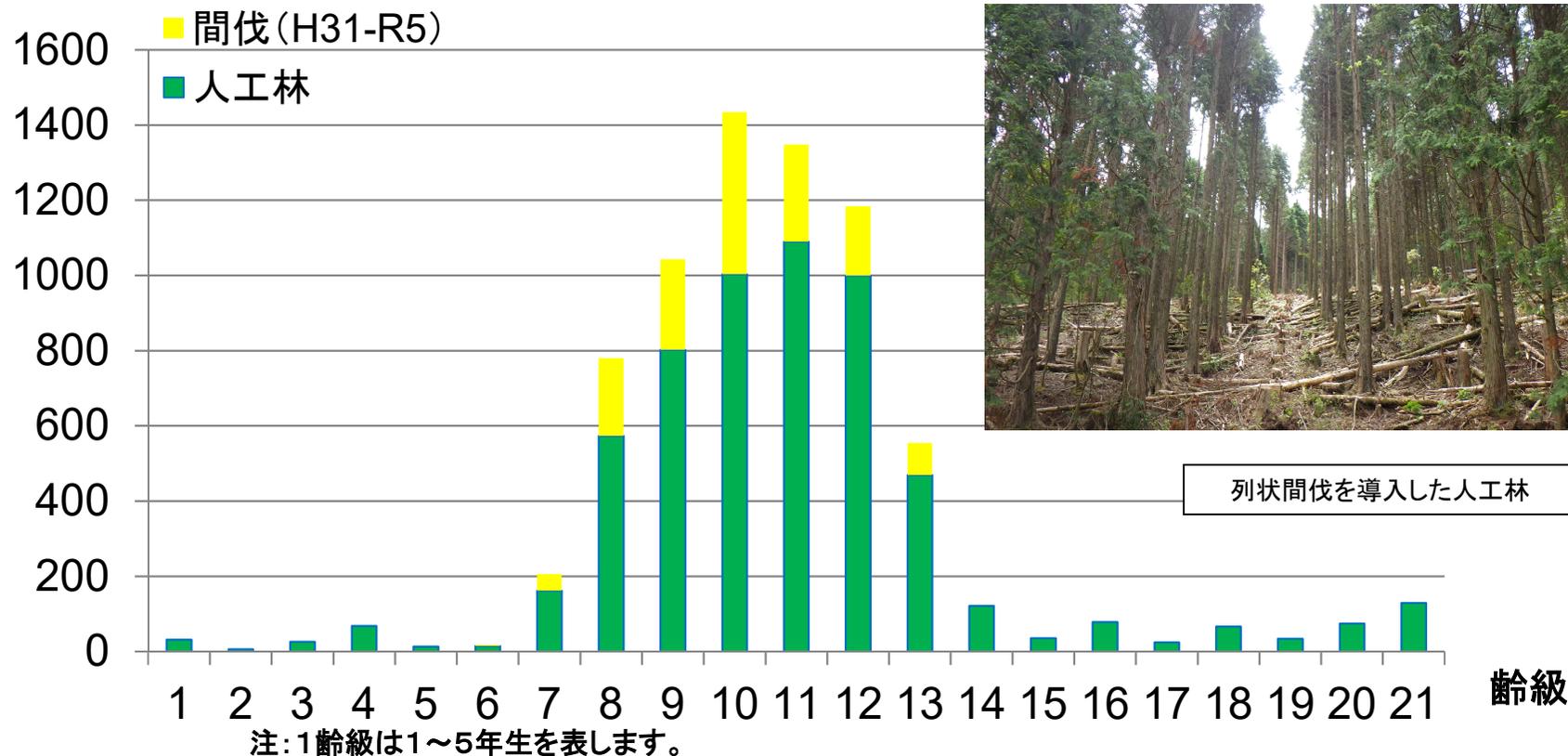
民有林と国有林が混在する南薩地域の森林に「森林整備推進協定」を締結し、関係者が連携して路網整備や森林整備に取り組んでいます。

③ 地球温暖化防止に向けた積極的な間伐等の推進

本計画区の人工林の面積は約5,818haで、間伐対象林齢の16年生から60年生の人工林の面積は約4,724ha（人工林面積の81%）です。

また、現行計画（H31年度～R5年度）では間伐を約1,395ha計画しており、森林吸収源対策のためにも間伐を推進しています。

面積ha

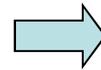


④ 多様で健全な森林の整備・保全

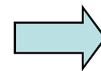
間伐をはじめとした森林整備に積極的かつ着実に取り組むとともに、針広混交林化、複層林化、長伐期化などを通じて、多様で健全な森林の整備・保全を推進します。



現状(人工林)



針広混交林

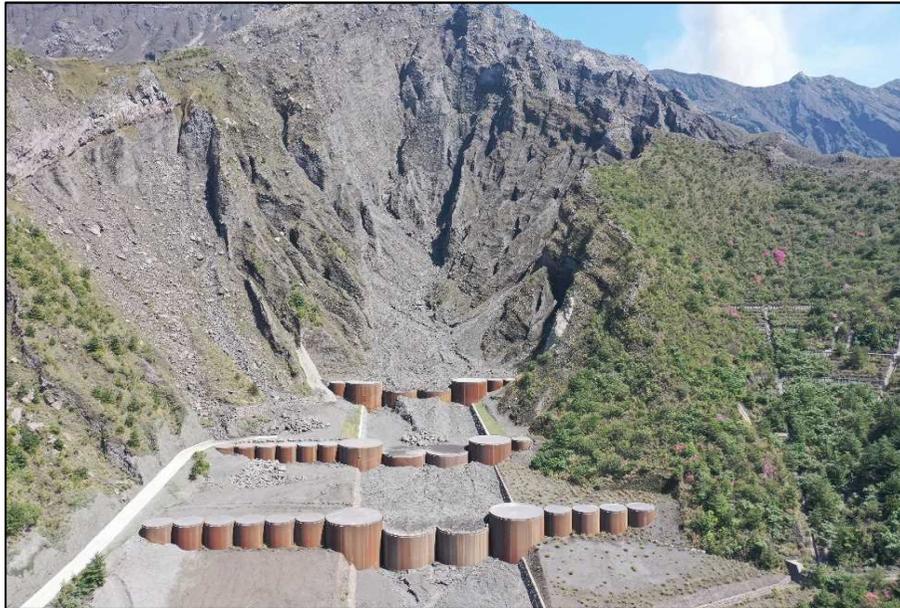


長伐期化された森林

(2) 国有林野の維持及び保存に関する事項

① 国民生活の安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山事業の展開

安全・安心の確保に向けた効率的・効果的な治山対策に取り組んでいます。



鹿児島市桜島地区等をはじめとする流域内で発生した山地災害箇所等について、治山施設の設置等による早期復旧工事を実施しています。



山地災害復旧跡地に治山事業の効果や役割についての PR看板を設置するとともに、地域住民への復旧工事についての説明会を実施しています。

② 地域の生活や農地等を守る海岸保安林の保全対策

松くい虫被害防止のため地元と連携して被害対策に取り組んでいます。



海岸林



空中散布

日本三大砂丘の一つである「吹上浜」の長大な海岸林の持つ、優れた防風・防砂保安機能や森林景観の維持のため、林帯の浸食防止や松くい虫被害の防除対策を実施しています。

(3) 林産物の供給に関する事項

① 高効率・低コストな作業システムの定着

伐採、造林等の事業の実施の効率化を図りつつ、健全な森林を整備するとともに、木材の需要動向や木材産業の状況等を的確に把握しつつ、国有林材の安定的な供給を推進しています。



地域における安定供給体制の整備や木材の新たな需要の拡大、原木の加工、流通の合理化等に資することを目的とした「システム販売」を推進しています。



林業生産コストの削減を図るため、簡易で崩れにくい路網の整備を推進しています。

(4) 国民の参加による森林の整備に関する事項

① 国民参加の森林づくりと森林環境教育の推進

国有林野をフィールドとした国民参加の森林づくりを推進しています。

地元ボランティアの方々と協力して植樹を行い森林の保全を図っています。



地元や各団体のボランティアの方々の協力により、植樹活動を行い森林の保全に取り組んでいます。

国民や企業の自主的な参加による森林の整備を推進します。

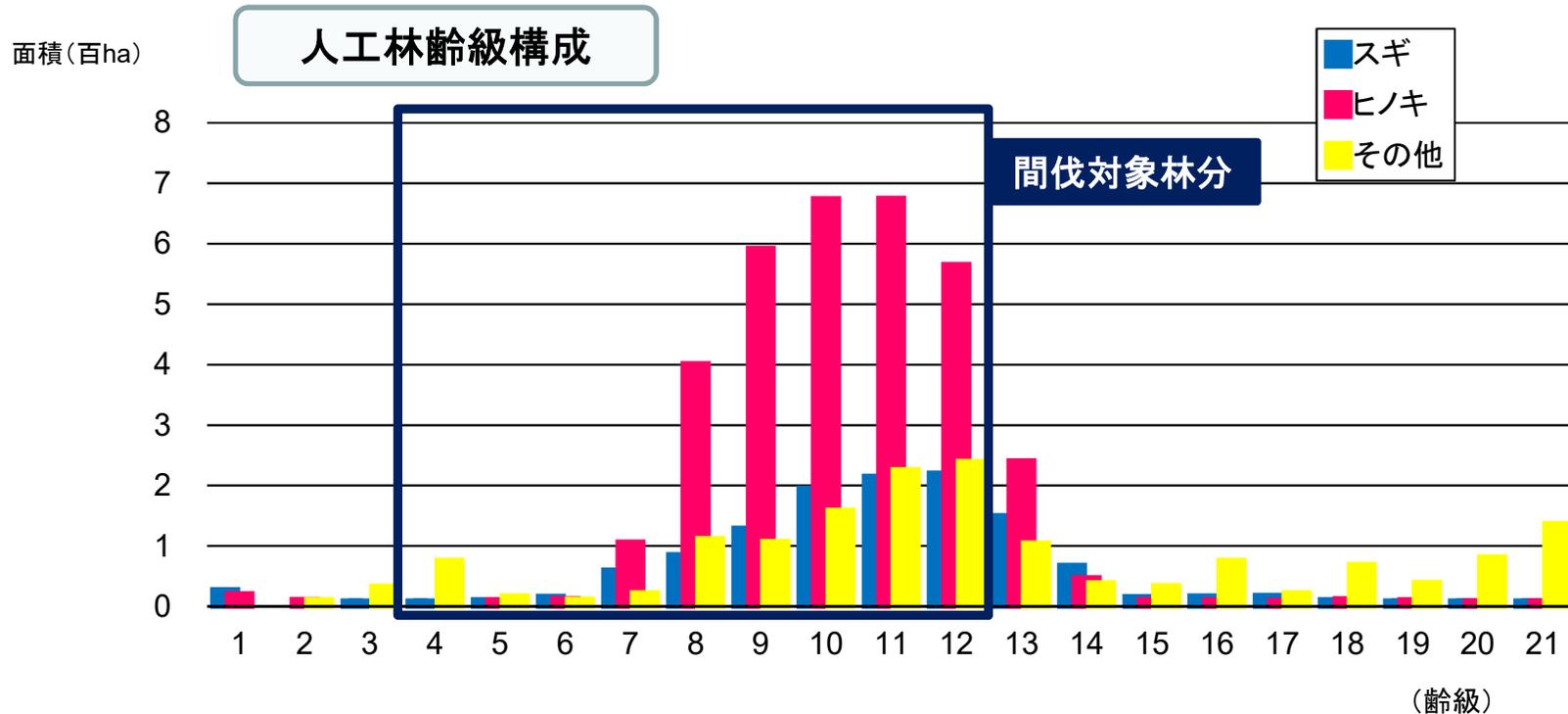


「多様な活動の森」により、継続的な林業体験活動の場を提供し森林環境教育等の推進に努めています。

2 次期計画の検討方向

(1) 管理経営上の課題

- 本計画区の国有林野が有する水源かん養機能や保健文化機能等の公益的機能の発揮を高めていく必要があります。
- 次期計画においても間伐対象となる16年生から60年生の人工林の割合は81%と現行計画と同程度であり、健全な森林づくりのほか森林吸収源対策の上からも引き続き間伐を推進する必要があります。



- ・森林病虫害等に強い多様な森林の造成を立地条件に応じ推進していく必要があります。
- ・国民参加による森林づくりに関する問い合わせや相談が増加していることから、これらの要請に適切に応えていく必要があります。
- ・国産材の安定供給を実現するため、生産システムのコスト縮減と生産性向上を進める必要があります。
- ・エネルギー原料としての利用等新たなニーズに応えるため、これまで利用してこなかった林地残材等の利用を進めていく必要があります。
- ・国民が安全・安心に暮らせる環境づくりに向けて、治山対策に取り組む必要があります。

(2) 計画内容

- ・公益的機能の維持増進を旨とする管理経営を行うとの方針の下、多様で健全な森林の整備・保全を行うほか、森林吸収源対策として引き続き間伐を推進するとともに、将来的に均衡がとれた齢級構成に移行させることに配慮しつつ、主伐とその後の再造林を計画的に推進する方向です。
- ・海岸保安林の保全機能を維持することとし、松くい虫などにより保全機能の低下した松林においては広葉樹への樹種転換など多様な森林の造成を推進する方向です。
- ・社会貢献活動として森林づくりに参加・協力したいとする企業等の要請に応えるため、「分収林」制度を活用して、森林整備を推進する方向です。
- ・生産システムのコスト縮減と生産性の向上を図るため、簡易で壊れにくい路網の整備を引き続き推進する方向です。
- ・これまで利用されてこなかった林地残材等の有効利用を図るため、これらを含む国産材のシステム販売に努める方向です。
- ・民有林と連携して効果的な治山事業の実施に取り組むとともに、地域住民と協働して災害を減らす対策を進める方向です。